

# 国際関係概論 21

林 光

2007年11月22日 木曜日

## 0 事務連絡

レポート：次回締め切りは11月29日

## 1 Mundel-Fleming Model

### 1.1 固定相場制と変動相場制

- ・金本位制
- ・ブレトンウッズ(B-W)体制 IMF

### 1.2 トリレンマ

1. 為替相場の固定
2. 国際資本移動の自由
3. 金融政策の自律性

マンデル・フレミング(Mundel-Fleming)モデル<sup>1</sup>

- ・金本位制下 1と2を追求して3を断念
- ・B-W体制下 2を犠牲にして1と3を追求
- ・B-W体制後 1を放棄して2と3を追求
- ・EU 3を放棄して1と2を採用

cf. 通貨危機後の途上国<sup>2</sup>

<sup>1</sup>このモデルによれば、為替相場の安定、国際資本移動の自由、金融政策の自律性、という三つの政策課題のうち同時に達成できるのは二つまで(いわゆるトリレンマ)

<sup>2</sup>タイ・インドネシア・韓国は1を放棄して自国通貨を大きく切り下げ、マレーシアは2を放棄。

### 1.3 IS-LM分析

#### 1.3.1 IS曲線

$$Y = C(Y) + I(r) + G$$

- ・財市場が均衡するようなYとrの組み合わせ

Y: 国民所得

r: 利子率

C: 民間消費

I: 民間投資

G: 政府支出

- ・IS曲線は右下がり

rとYの組み合わせで財市場の均衡維持<sup>3</sup>

- ・G: 政府支出 IS曲線は右下方にシフト<sup>4</sup>

#### 1.3.2 LM曲線

$$M = L(Y, r)$$

- ・貨幣市場が均衡するようなYとrの組み合わせ

M: 貨幣供給

L: 貨幣需要 = 取引需要<sup>5</sup> + 資産需要<sup>6</sup>

LM曲線は右上がり

rとYの組み合わせで貨幣市場の均衡維持<sup>7</sup>

- ・M: 貨幣供給 LM曲線は右下方にシフト<sup>8</sup>

<sup>3</sup>利子率rで投資I(r)だから、いままでと同じYのままでは、財市場が超過供給になってしまう。財市場の超過供給を解消するには、国民総生産が減少(Y)しなければならない。

<sup>4</sup>これまでのYとrのままでは、財市場に超過需要が生まれる。Yが一定であるとすれば、rによって投資需要が抑制されなければならない。rが一定であるとすれば、国民総生産が増加(Y)しなければならない。いずれにせよIS曲線は右下方にシフトする。

<sup>5</sup>国民所得Yの増加関数

<sup>6</sup>利子率rの減少関数

<sup>7</sup>利子率r(低い債券価格)のとき、人々は債券を持つとし、貨幣に対する資産需要。従って、いままでと同じYのままでは(貨幣供給は変わらないとして)貨幣市場が超過供給になってしまう。この貨幣市場の超過供給を解消するには、国民総生産が増加(Y)しなければならない。

<sup>8</sup>これまでのYとrのままでは、貨幣市場に超過供給が生まれる。Yが一定であるとすれば、rによって貨幣に対する資産需要が刺激されなければならない。rが一定であるとすれば、国民総生

## 1.4 IS-LM-BP 分析 (M-F モデル)

### 1.4.1 BP 曲線

仮定：国際間の資本移動自由

自国の利子率:  $i$

世界の利子率:  $i^*$

$i > i^*$  自国に資本流入 自国の通貨価値

$i < i^*$  外国へ資本流出 自国の通貨価値

#### 変動相場制下

自国に資本流入

自国の通貨価値

自国の製品の価格

自国の輸出 輸入

自国の貿易収支

#### 固定相場制下

自国に資本流入

自国の通貨価値

中央銀行の介入<sup>9</sup>

貨幣供給 (自国の通貨価値)

### 1.4.2 金融政策 (M) の効果

#### 変動相場制下

LM 曲線右にシフト

自国の通貨価値

自国の貿易収支

有効需要

IS 曲線右にシフト

新たな均衡点へ (Y)

#### 固定相場制下

LM 曲線右にシフト

自国の通貨価値

(為替レート切り下げ圧力)

中央銀行の介入<sup>10</sup>

貨幣供給 (自国の通貨価値)

LM 曲線左にシフト!

元の均衡点へ!

産が増加 (Y) することで、貨幣の取引需要が刺激されなければならぬ。いずれにせよ LM 曲線は右下方にシフトする。

<sup>9</sup> 自国通貨レートを防ぐため、自国通貨売り = 外国通貨買い

<sup>10</sup> 自国通貨レートを防ぐため、自国通貨買い = 外国通貨売り

### 1.4.3 財政政策 (G) の効果

#### 変動相場制下

IS 曲線右にシフト

自国の通貨価値

自国の貿易収支

有効需要

IS 曲線左にシフト!

元の均衡点へ!

#### 固定相場制下

IS 曲線右にシフト

自国の通貨価値

(為替レート切り上げ圧力)

中央銀行の介入<sup>11</sup>

貨幣供給 (自国の通貨価値)

LM 曲線も右にシフト

新たな均衡点へ (Y)

### 1.4.4 まとめ

国際間の資本移動が自由

財政政策・金融政策の効果は?

表 1: 財政政策・金融政策の効果

	変動相場制下	固定相場制下
金融政策		×
財政政策	×	

<sup>11</sup> 自国通貨レートを防ぐため、自国通貨売り = 外国通貨買い